



各 位

平成 29 年 2 月 2 日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
代表者 代表取締役会長兼社長 川崎 博也
(コード番号 5406)
問合せ先 秘書広報部長 楠山 泰司
(TEL 03-5739-6010)

建設機械の中国事業における営業損失の計上及び事業の再構築に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）において、下記のとおり営業損失を計上しました。また、建設機械の中国事業の再構築に向け中国側出資者との合弁を解消し、当社主導で事業運営を行うこととなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業損失の内容

(1) 損失発生の理由

建設機械の中国事業について、既存の滞留債権について確度の高い弁済計画が得られず、依然回収が難航、長期化している実態に鑑み、債権回収の不確実性が一層高まりつつあると判断したため、滞留債権に対して貸倒引当金繰入額及び債務保証に対して債務保証損失引当金繰入額を計上するものであります。

(2) 損失金額

平成 29 年 3 月期第 3 四半期会計期間において、貸倒引当金繰入額 276 億円及び債務保証損失引当金繰入額 34 億円を計上します。

(3) 今後の見通し

本件を含めた平成29年3月期連結業績予想は、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中国事業の再構築について

(1) 概要

当社は、債権管理を含めた事業課題への対応を中国側出資者と協議して参りましたが、販売体制や生産体制の見直し等に関する見解の相違が明確になったことから、本日、中国側出資者との合弁を解消することに合意し、中国側出資者が有するショベル事業の少数持分について日本側出資者が取得することといたしました。一方、日本側のホイールローダー事業の少数持分は中国側出資者にすべて譲渡いたします。これにより、中国事業の再構築を当社主導で実行し、中期計画で掲げた建設機械事業の収益力強化を実現してまいります。

(2) 主な合意事項

① 中国側から日本側への持分譲渡

- i) 四川成工の保有するCKCL持分のすべて（49%）
- ii) 中国側出資者の保有するCKCMG持分のすべて（43.682%）
- iii) 中国側出資者の保有するCKCM持分のすべて（11.256%）
- iv) 中国側出資者の保有するHKCM持分のすべて（22.05%）

② 日本側から中国側への持分譲渡

- i) CKCMGの保有する四川成工持分のすべて（48.35%）

※略称について

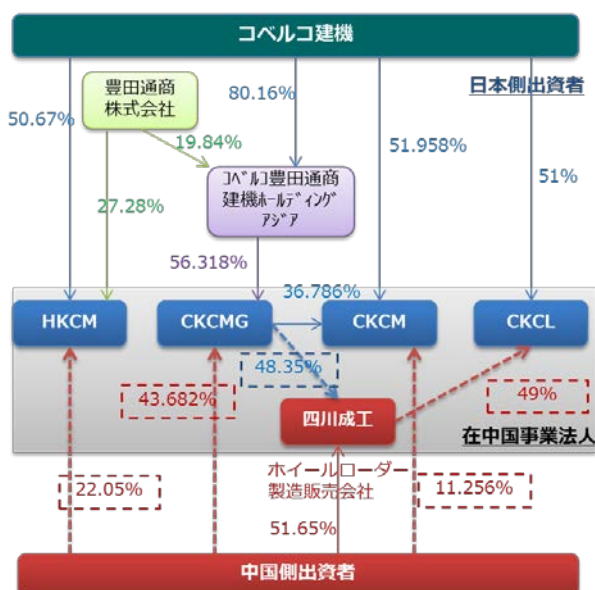
- CKCMG：成都神鋼工程機械（集団）有限公司 ショベル販売（成都）
- CKCM：成都神鋼建設機械有限公司 ショベル製造（成都）
- HKCM：杭州神鋼建設機械有限公司 ショベル製造（杭州）
- CKCL：成都神鋼起重機有限公司 クレーン製造販売（成都）
- 四川成工：四川成都成工工程機械股份有限公司 ホイールローダー製造販売（成都）

※中国側出資者について

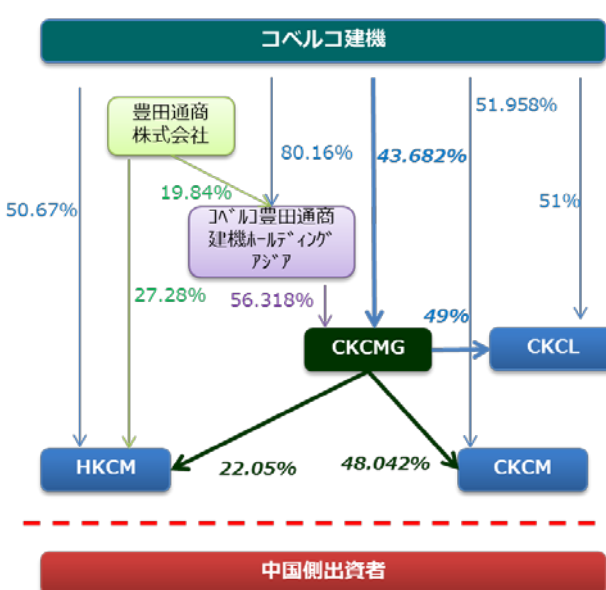
成都衆創実業発展有限公司、他
 代表者（董事長）：白旭
 所在地：中華人民共和国四川省成都市龍泉驛区平安鎮龍都南路

(3) 出資構成について

【現在の出資構成】



【持分譲渡後の出資構成】



(4) スケジュール

2017年3月末まで 最終契約締結
 2017年10月頃 持分譲渡、譲受

(5) 業績に与える影響

本件に伴う当社連結業績への影響は軽微と見込まれますが、今後、精査の上、開示すべき影響等が判明した場合は速やかにお知らせいたします。

(参考)

今後の取組みについて

- ◇ 販売体制の見直し
 - ・ 販売政策の見直し：債権回収と代理店収益の重視を徹底
 - ・ 代理店政策の変更：既存代理店の絞込み・統廃合を進め、体質を強化
 - ・ 債権管理の徹底：代理店管理の強化、「債権管理本部（仮称）」の新設
- ◇ 生産体制の見直し
 - ・ 成都（CKCM）：中国国内向け生産拠点化
 - ・ 杭州（HKCM）：完成機輸出及び製缶品供給拠点化